令和８年度　愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業

みんなでアウトドア　防災編



１　ねらい

・防災体験活動を通して、命を守るために必要な知識や技術を身に付ける。
・親子のふれあいや参加者相互のふれあいを通して、豊かな心を育む。
・「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進する。

２　実 施 日

令和８年 10 月 25 日（日）10：00～15：30

３　日　　程

日程	内容
9:30	受付
10:00	開講式
10:30	かまどで火おこし、防災食づくり
	昼食
12:30	休憩
13:00	避難テント設営体験、災害用トイレ組み立て体験、煙ハウス体験、洪水積み木リレー、排水ポンプ車等見学など
15:00	ふりかえり・閉講式
15:30	解散

４　活動場所

大洲市防災センター（愛媛県大洲市若宮１８６９－１）

５　参加対象・募集人数

どなたでも　※小学生以下は保護者同伴
30 名

６　参加人数

13 家族（31 名）

７　活動内容

大洲市防災センターを会場として、様々な防災プログラムを体験することができた。

午前中は、屋外にあるベンチ式かまどを使用して防災食づくりに挑戦した。缶詰と米、じゃがりこを使い、材料を入れた袋を湯煎して、焼き鳥ご飯とポテトサラダを作った。また、参加者がマッチを使用して、かまどの火付けを行った。その後、メタルマッチとまいきり式火おこし器を使用して火おこし体験を行った。親子で協力して、火をおこせたときの表情は、喜びと疲労感とともに、火をおこすことの大変さを感じることができた。

午後からは大洲市防災センターによる避難テント設営体験や災害用トイレ組み立て体験を行い、さらに国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所による肱川水域の学習や排水ポンプ車体験など、親子で交流しながら様々なプログラムを体験することができた。





8　参加者の声

事業後アンケート結果

＊満足：92.0%　　＊やや満足：0.0%　　＊やや不満：8.0%　　＊不満：0.0%

○ご飯が美味しかった。テントを立てるのが楽しかった。

○楽しかったです。親子で防災について考えるきっかけになります。
ありがとうございました。

○火おこし体験、煙体験などたくさん体験できてよかった。

●火おこし体験の失敗。雨天のため火が付かず。雨天時は火おこし以外で。

様々な防災体験を親子で協力しながら体験をすることにより、楽しみながら知識や技能を身に付けることができた。家に戻った後に、「また防災食づくりをしてみたい」との声を聴くことができ、今後につながるいい機会となった。

9　事業の成果と課題

大洲市防災センターや国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所と連携をすることにより、国立大洲青少年交流の家だけでは提供できない充実した防災プログラムの提供ができた。

昨年度までは小学生の親子が対象であったが、今年度からはどなたでも参加できるように対象範囲を広げた影響もあり、定員以上の 33 世帯 84 名の応募があった。３つの機関が行ったそれぞれの防災体験活動を通して、命を守るために必要な知識や技術を身に付けるという目的に近づくことができた。

開会当初は晴天だったため、晴天時プログラムで実施したが、火おこし体験時に天候が悪化し、満足のいく火おこし活動が実施できなかった。事前に荒天時活動の準備もしていたが、天候が不安定な場合には、途中でのプログラム見直しを行うことも必要であると感じた。今後は参加者アンケートの「満足」が 100%になるようにプログラムの内容や連携方法等を工夫していきたい。

（担当：事業推進係員　宮﨑　公也）